

3-5
本体デザインの
方針

案内サインの本体デザインに関する方針は以下の通りです。

(1) 本体デザイン方針

新規に案内サインを設置する際は「2-10 素材、形態、モジュールと集約の考え方」に則るものとします。

特に隣接するサインがある場合は、サインの乱立を招かないよう、隣接するサインとの本体の集約に努めるものとします。

既存の案内サインの本体を改修する際は「2-13 維持管理(サイン本体・情報)」に則るものとします。

(2) 本体色彩の選定

案内サインの本体色彩は「2-11 本体色彩の考え方」に則り、色相 10YR、明度 2.0、彩度 1.0 (ダークブラウン) を基本とし、若宮大路ベルト (二の鳥居より北側) では色相 5G、明度 6.0、彩度 2.0 (グレイッシュグリーン)、海浜ベルトでは色相 10YR、明度 8.5、彩度 0.5 (オフホワイト) とします。

ただし、自然素材 (石など) を用いる場合はこの限りではありません。

(3) 本体素材の選定

本体素材は、耐久性、経済性、審美的観点から、設置環境に適したものを選定する必要があります。

特に耐久性の面では、海と山に囲まれた地理的特性による塩害、湿気等による劣化に強い素材であることが重要です。

経済性、審美的な面では、案内サインはその多くが鎌倉市において重要な観光拠点に設置されることから、周辺環境に調和する素材であることが重要です。

3-6 誘導表示における情報掲載基準は以下の通りです。
 誘導情報の
 掲載基準

■(図3-11) 誘導表示の掲載基準 1

区分	表示情報	ピクトグラム	備考
交通施設	鉄軌道駅		
	バスターミナル		
公共施設	市役所	無し	
	図書館	無し	
	福祉センター	無し	
	行政センター	無し	
	植物園	無し	
文化、 スポーツ施設	美術館		
	博物館		
	国宝館、その他資料館等		
	海水浴場		

3章 詳細ルール編

■(図3-12) 誘導表示の掲載基準 2

区分	表示情報	ピクトグラム	備考
観光施設	大規模公園		
	寺社		大仏、鶴岡八幡宮に関してのみ、 駅周辺では JR 使用ピクトグラム と同じ物を使用する。
	ハイキングコース		
	やぐら、墓、跡	無し	
	切り通し	無し	
	果樹園・植物園	無し	
	自然景勝地		
	通り	無し	(既存は小町通りのみ)
その他	トイレ、多機能トイレ		付帯施設としてピクトのみ表記
	有人案内所		付帯施設としてピクトのみ表記

3-7
誘導サイン
の表示デザイン例

誘導サインの中で、観光ルート板は将来的な設置、改修等の可能性を踏まえ、以下の2パターンでデザイン例を提示します。

(1) Aタイプ

本体は既存の表示板を用いて、表示面のみシートの貼替え等に対応する場合のデザイン例である。

(1-1) Aタイプ標準（施設名称が5文字程度の場合）

表示面寸法：W720mmxH120mm（既存の通常サイズ）

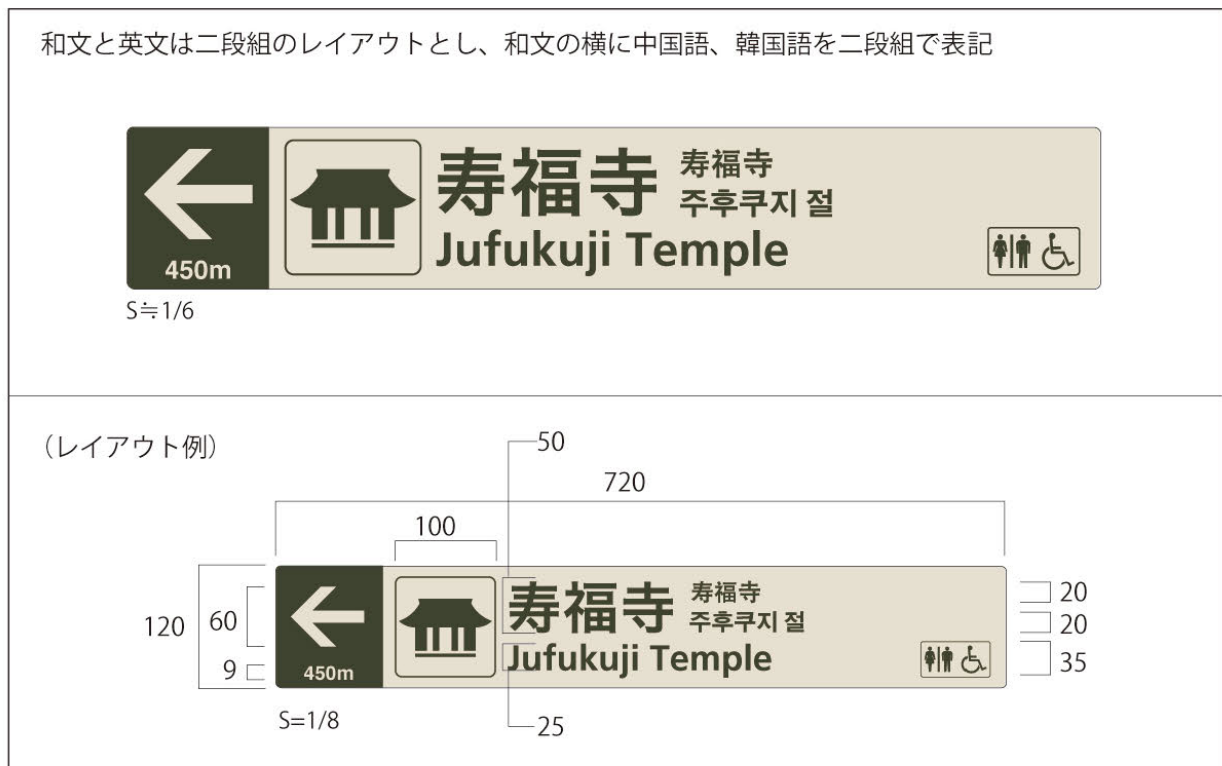
図記号寸法：主施設 100mm、付帯施設 35mm

和文高さ：50mm

英文高さ：25mm

中国語、韓国語高さ 20mm

■(図3-12) Aタイプ標準 デザイン例（施設名称が5文字程度まで）



- (1-2) Aタイプ長文 (施設名称が6文字以上の場合)
- 表示面寸法：W720mmxH120mm (既存の通常サイズ)
- 図記号寸法：主施設 100mm、付帯施設 35mm
- 和文高さ：50mm
- 英文高さ：20mm
- 中国語、韓国語高さ 15mm

■(図3-13) Aタイプ長文 デザイン例 (施設名称が6文字以上)

和文、英文、中国語と韓国語を並列したものを、三段組で表記

S=1/6

(レイアウト例)

720

100

450m

120

60

9

40

20

15

S=1/8

35 (付帯施設がある場合)

(2) Bタイプ

本体の新設・改修を視野に入れた、最適な文字サイズを確保した場合の理想的なデザイン例である。施設名称の長短に関わらず、基本的に1種類のレイアウトで収めることが出来る。

表示面寸法：W970mmxH170mm

図記号寸法：主施設 139mm、付帯施設 55mm

和文高さ：55mm

英文、中国語、韓国語高さ 27mm

■(図3-14) Bタイプ デザイン例



■(図3-15) Bタイプ 施設名称が長い場合のデザイン例



図3-12～図3-15の誘導サインのデザイン例に用いた書体、色彩は以下の通りです。

■(資料3-2) 誘導サインデザイン例に使用した書体及び色彩

<文字参考データ (ゴシック体)>

和文：ヒラギノ UD 角ゴ W5

英文：Frutiger Bold 65

中国語：Adobe 黒体

韓国語：Hiragino Suns CNS W6

距離表示：Helvetica Bold

祇園山ハイキングコース

Gionyama Hiking Trail

祇園山登山路线

기온야마 자전거 코스

450m

<色彩参考データ>

緑部分(矢印表示ベース、ピクトグラム、文字)



(マンセル) 2.5Y8.5/1

(日塗工近似色) H22-85B

(シート参考色)

3M JS1111XL ファミリアグレー

グレー部分(矢印、距離表示、板面ベース)



(マンセル) 5GY3/2

(日塗工近似色) H35-30D

(シート参考色)

中川ケミカル CS200 477

3-8

本体デザインの
方針

誘導サインの本体デザインに関する方針は以下の通りです。

(1) 本体デザイン方針

新規に誘導サインを設置する際は「2-10 素材、形態、モジュールと集約の考え方」に則るものとします。

(2) 本体色彩の選定

誘導サインの本体とは基本的に表示板面を支持する支柱の部分を指します。支柱の色彩に関しては「2-11 本体色彩の考え方」に則り、色相 10YR、明度 2.0、彩度 1.0 (ダークブラウン) を基本とし、エリアによる色彩設定は設けないものとします。

(3) 本体素材の選定

本体素材は、耐久性、経済性、審美的観点から、設置環境に適したものを選定する必要があります。

誘導サインは最も基数の多いサインであることから、耐久性、経済性を兼ね備えた素材を選定することが重要です。

3-9
本体・表示の
維持管理

案内サイン、誘導サインは全て屋外に設置されるため、年月の経過による汚損や老朽化は避けられません。特に案内サイン、誘導サインは観光客にとって重要な情報であるため、本体、表示において永続的な維持管理を行うものとします。

案内サイン、誘導サインとも、「2-13 維持管理（サイン本体・情報）」を参照し、管理番号を付けてメンテナンスを行うことが重要です。

